

# 大阪府立茨木高等学校 学校運営協議会 令和5年度委員等

## 委員

添田 晴雄（会長）  
岩井 八郎（副会長）  
柴田 仁  
中村 卓  
樫本 佳子  
武田 和代

## 校長及び事務局員

高江洲 良昌（校長）  
朝倉 淳（教頭）  
藤山 恵里（事務長）  
森 登紀子（首席）  
森 佳希（首席）  
林 幸広（教務主任）  
長田 大樹（進路指導主事）  
市田 友宏（生徒指導主事）

## 令和5年度 第3回学校運営協議会議事録

日時：令和6年2月17日（土）14:00～16:00

場所：大阪府立茨木高等学校 校長室

出席者：【 委 員 】 添田晴雄、岩井八郎、柴田仁、中村卓、樫本佳子、武田和代

【校長・事務局】 高江洲良昌、朝倉淳、藤山恵里、森登紀子、森佳希  
林幸広、長田大樹、市田友宏

0. 会長藍沙里

1. 校長挨拶

2. 委員紹介・事務局職員紹介

3. 議事

- ① 令和5年度学校経営計画及び評価（案）について
- ② 令和6年度学校経営計画及び評価（案）について
- ③ 令和6年度学校運営協議会の日程について
- ④ その他

<校長挨拶>

<事務局からの「議事」に係る説明>

①令和5年度学校経営計画及び評価（案）について

②令和6年度学校経営計画及び評価（案）について

\*校長より、「令和5年度学校経営計画及び評価（案）」に沿って具体的な取組み状況及び生

徒の様子を報告また、事務局より個々の取組みについて説明。

委員：授業アンケートの回答の傾向は変わっているのか。

事務局：概ね同じで、大きな変化はない。

委員：授業はわかりやすさが大事と言われるが、(先生が)自分の好きなことばかりを話しているような先生のことを案外覚えていたりもする。先生が自由に深い話をする時間も大事にしてもらいたい。

委員：実体験を披露するということは、生徒にとっても大切な経験である。

委員：グローバルサウスと言われるように、最近は日本以外のアジア圏の人々が国際展示会に多く参加している。

委員：自身の国に対する使命感や国に貢献しようという意識が高い。茨木高校にはそのような人材を輩出してもらいたい。

委員：生徒たち以上に、保護者が安易に答えを求める傾向があるのではないかと。保護者に「待ち」の姿勢を持ってもらうような機会もあればよい。

委員：教科書を教えるのではなく、教科書で教える意識が必要。教えるべき内容に応じてバランスは必要だが、先生の個性・多様性を生かして話すということは非常に大切。加えて、学校からの発信はやはりこまめにすべき。今月は国語、今月は数学というようなある程度のルールを決めてもよいのではないかと。

委員：グローバルな意識を育てるにあたり、その国の人と出会ったことがあるのかどうかは大切。つながる言語が英語であるならば、その英語を学ぶことの重要性を自ずと感じ取るのではないかと。今の世の中であれば、リモートでも海外とつながっていけるので、国際情勢の中で話題になっている国とつながっていくことが大切。

委員：学校教育自己診断の生徒の回答の割合の中で、「地域や社会、世界がより良くなるためにできることに取り組んでいる」の項目で、「あまりそう思わない」が25%にもなっている。生徒主体で行うのは良いが、生徒がもっと肯定的に捉えられるレベルまで教員が引き上げてやることも必要だと思われる。

事務局：わかりやすさだけの授業が良い授業ではないということを、教員と生徒、保護者との間でより深く共有する必要があると考える。情報発信についても、引き続き検討していく。

委員：部活動への帰属意識は非常に高いと思われる。学級よりも部活動とまでは言わないが、部活がリーダーシップを育て、その生徒たちがクラスで活躍しているという面はあると思う。

委員：部活動は、同級生だけのつながりでなく、他学年と縦のつながりができるのが大きい。卒業生ともつながれるよう、卒業生のネットワークを作ってサポートしていきたい。

委員：部活動や課題研究の中で、先輩から後輩へ、失敗事例の共有をどんどんさせてやるとよいのではないかと。

校長：令和6年度の学校教育計画についてご意見をうかがいたい。

委員：通信制の学校の需要の高まりを感じている。その中で全日制学校の良さを打ち出していく必要があるが、先生方が忙しいこともよくわかる。

委員：部活動の顧問の掛け持ちや日直制度は導入しているのか。

事務局：他校に比べると、進んでいると感じている。

委員：働き方改革は世の流れで、どの業界も人手不足が叫ばれている。

委員：働き方改革については、これまでと発想を変え、新しいアイデアを出していくことが大切。

事務局：外部人材を積極的に活用するなどしていきたい。

#### ⑤ 次年度学校運営協議会の日程

第1回 令和6年6月8日

第2回 令和6年10月5日

第3回 令和7年2月15日